

みのりの郷

2022
秋号
令和4年

美しい田園風景と思いやりのあるまち坂井木部



INDEX



令和4年度 前期の主な活動報告

特集：『木部まち探検隊が行く！ ～その2～』

嶺北消防組合坂井第15分団

きべっ子ママお話ボランティア

コミセン通信：コミセン講座と放課後子ども教室

連載：知ってもっと好きになる私たちのまち坂井木部



坂井木部地区まちづくり協議会 HP
<https://kibemaru.jimdofree.com/>

昔ながらの米作り体験事業

まち協や地域の人の協力で、小学校4、5年生が昔ながらの米作りを体験。5月6日にお米の勉強会と田植えをし、その後定期的に生育調査、9月28日には稲の刈取りとハサ掛け、10月4日には脱穀と、もち米になるまでの一連の作業を体験。児童は「いつも食べている米の作り方が分かった。楽しかった」と感想。10月15日には収穫したもち米を使って自分たちで「笹餅」をつくり、翌日の秋のふれあい祭りで販売したり、餅つきをしてみんなに配りました。



木部体育協会主催

ニユースポーツ大会

5月29日(日)ディスクゴルフ講習会

三国海浜公園で、青空のもと気持ちの良い汗を流しました。自然の中のコースは難しかったけどゴールに入ったときは「やったー！」と歓声。大人も子どもも楽しく体験しました。



6月26日(日)スティックリング大会

コツをつかむと小学生も大活躍。中央の高得点をめざしてのステックさばきは大人顔負け。3つの親子チームもよい成績で入賞。優勝は「木部新保Aチーム」。



10月23日(日)「グランドゴルフ大会」

秋晴れの中、木部ふれあい公園で開催。思うところにボールが転がらず苦労しましたが、ホールインワンの場面もあり大歓声。楽しいひと時でした。優勝は折戸の牧野利平さん。



ふるさと花壇づくりと

親子寄せ植え体験

6月19日(日)

親子16人とまち協かんきょう美化部会員が共同で、コミセン前の花壇にジニア、サルビア、マリーゴールドなどを植え、その後、親子が仲良く寄せ植え作り。保護者からは「普段できない良い経験をした」子どもからは「花を植えるのが楽しかった」と感想。



わくわく子ども縁日

7月30日(土)

コロナ禍のため、今年は規模を縮小して『子ども縁日』を開催。2時間ほどの開催でしたが、坂井木部コミュニティセンターに192人の子どもや保護者等が来場し、射的やヨーヨー釣りなど縁日屋台を楽しみました。地元の中学生もボランティアとして大活躍。まち協マスケットキャラクターのきべ丸(着ぐるみ)と一緒に写真を撮る場面も。

隣の児童館では地元の有志が自家菜園の野菜を安価で販売。また、手作りバックやおもちゃ等フリーマーケットも好評。子どもたちは「楽しかった! いっぱい貰えた」と嬉しそうでした。



おやつ探検パート1&2

7月25日(土)・8月18日(木)

おやつと言えば、「ジュース」に「スナック菓子」が手軽でお店に行けば様々な商品が並んでいます。

すこやか福祉部会では、親子が自分の目で商品の材料表示を確かめ、選ぶ大切さを学ぶ教室を開催。

パート1では、好きなジュースの糖度を、糖度計を用いて量る体験をし、以外な砂糖摂取量に驚いた様子。パート2では、スナック菓子の油分、塩分について学び、自分達で大好きなポテトチップスの油分を調べて、油の多さにすごいという声がありました。



坂井木部地区避難訓練

8月21日(日)

コロナ禍のなか坂井市内で震度7の地震が発生し、指定避難所の木部小学校体育館に続々と区民が避難してきたという想定で実施。防災士の会の指導の下、コロナ感染リスクに備えた避難所運営の訓練を行いました。区長、まち協、消防団、赤十字奉仕団、自主防災組織、区民など約90人が参加。障がい者や高齢者などに扮した区民が感染予防を徹底した受付と誘導で体育館に避難し、段ボールベッドやテント、間仕切り設営を体験。コミセンの調理室ではハイゼックスを使った非常食づくりを行い、全員に配布。参加者は「普段できない体験ができた。集落でもやってみたい」と話していました。



小学校環境整備(樹木剪定)

8月27日(土)

児童が安全に気持ちよく学校生活を送れるよう、PTAと合同で小学校の環境整備を実施。まち協は3年ぶりの参加で、生い茂った樹木の剪定を担当。高所作業車や剪定鋏、電動鋸を使って3時間後には見違える様にすっきりしました。



有機の野菜作り講習会

9月25日(日)

有機肥料で野菜を栽培・販売している高崎麻梨子氏より、環境にも優しく、健康的で味もよい有機の野菜作りについて学び、受講者は熱心に

質問をしていました。まち協でもEM活性液やEMボカシを作って販売中。



敬老の慶祝品お届け

9月吉日

今年もコロナ禍のため敬老会開催は控え、地区の区長さんや福祉委員が75歳以上の323人にタオルやお菓子等のお祝いの品を一人おひとりにお届けしました。

木部新保の廣部尚子さん(86歳)は「これからも健康に気をつけて元気で過ごしたいです」と感謝の言葉。来年はみんなが集える『敬老会』を開催したいですね。



重森光太郎ピアノコンサート

10月2日(日)

秋の爽やかな風が吹き抜ける木部小学校体育館に美しいピアノの旋律が流れる。約200人の観衆は静かに聞き入り、一流のピアニスト演奏の凄さを肌で感じていました。観客からは「この体育館が大きなコンサートホールのような感じがした。来てよかった。感動した!」と感想。祖父母が住む蛸地区、重森さん自身も故郷木部で演奏できる喜びを語っていました。

重森光太郎さんは現在桐朋学園大学

ソリストディプロマコース在学中で、今年11月13日にパリで開催されたフランスのロン・ティボー国際音楽コンクールで4位入賞。木部の住民として誇りに思うと同時に今後のさらなる活躍を応援していきたいと思っています。



秋のふれあい祭り

10月16日(日)

3年ぶりに子どもたちや区民など184人が楽しい時間を過ごしました。まず、三国高校書道部のパフォーマンス、音楽にあわせて袴姿の女子高生が、大きな半紙に大きな文字を書く姿は思わず「カッコいい!」と声援。次に、複音ハーモニカ演奏で

芸術の秋を満喫。

その後は児童が米作り体験学習で収穫したもち米で餅つきし、お父さんや子どもたちも楽しそうに参加。今年はコロナ禍のため、あんこ餅と黄な粉餅のお持ち帰りとなりました。

「いらっしやいませー。笹もちはいかがですかー」と児童の元気な声が響き、小学4、5年生が作った笹餅やまち協手作りの笹餅はすぐに完売。

今年も児童館の子どもたちが作ったお味噌の販売も好評。参加者は「楽しかったー、来年も楽しみにしているわ」と両手にお土産を持って帰りました。



特

集『木部まち探検隊が行く！～その2～』

今回は坂井木部地区で活躍中の2団体を探検。木部を火災から守る「嶺北消防組合坂井第15分団」、子ども達の健やかな成長を支援する「きべっこママお話ボランティア」の活動を覗いて見ましょう。



嶺北消防組合坂井第15分団

坂井第15分団は木部地区の各区より2～4名が選抜され、合計23名が在籍しています。年齢構成は20～60代と幅広い年齢層で構成されています。

坂井第15分団というと「何？」と思う方もいるかもしれませんが、木部地区の消防団といえはわかる方も多いのではないのでしょうか。

活動内容は火災や災害発生時の消火活動、救助活動、避難誘導などです。また、いざというときにしっかりと活動出来るよう、平常時には定期的に放水や消火訓練、ポンプ車や消火器具の点検やメンテナンス、そして火災予防啓発活動として警鐘警戒巡回を行います、応急手当講習会への参加などもしています。10月から年末にかけての夜には、団の赤いポンプ車が「カンカーン」と鐘を鳴らして木部地区内を巡回しますので、消防団の活動だとわかっていただけると嬉しいですよ。

また、一緒に活動してくれる団員を募集しておりますので、各集落の消防団に声を掛けてください。

木部地区で火事や災害が発生しないようみなさんもお気をつけください。

分団長 東荒井 末山 郁夫



きべっこママお話ボランティア

平成17年に木部小学校から読書の輪を広げる活動として、保護者に呼びかけられ発足したグループです。活動を始めて早18年目となりました。

現在は7名が活動しており、毎週水曜日は木部小学校で朝始業の前10分ほど、木曜日はすすらんこども園で9時30分から20分ほど読み聞かせを行っています。その他、年に2回全校児童を対象に「お話し会」を催し、本を題材にした寸劇やパネルシアターなど工夫をこらして児童に楽しんでもらっています。

「どんな本が好きかな?」「これ子ども達に読んでほしいな...」と学年にあった本や季節、イベントに合った本をじっくり選ぶことも大切な活動で、つい時間を忘れて絵本に没頭することがあります。また、お話会の内容をみんなで考えたりすることも、とても楽しく充実した活動になっています。

ただ今メンバー募集中です。誰でもできます。一緒に活動しませんか！いつでもお待ちしております。

代表 武川ひろみ

コミセン通信

▶コミセン講座



初心者のウクレレ教室



初心者のための脳活・健康麻雀

「集う・学ぶ・結ぶ」場所であるコミュニティセンターに来て一緒に楽しい時間を過ごしませんか？こんな事がしたい、習いたい！という事があればコミュニティセンターの職員にお伝え下さい。沢山の声をお待ちしています。

通年講座は概ね 10 回の講座で構成して開催しています。今年は「ウクレレ講座」と「脳活・健康麻雀講座」を各 10 回開催しました。



骨格再生ボディメイク



Android限定初心者のスマホ



和・洋2種類の米粉のお菓子

様々な年代の方にコミュニティセンターを利用していただけるように、講座内容を考えています。子育てに忙しい若いお母さん達を対象に、自分の身体をセルフメンテナンスする講座、高齢者向けにはスマホの講座を、福井のお米を見直すきっかけに、米粉の講座も開催しました。

▶放課後子ども教室



放課後の「子どもの居場所づくり」が目的の教室です。通年教室の「子ども三味線」と長期休暇を利用した単発の教室があり、今年度は3回実施しました。



生き物と触れ合ったり、坂井警察署・鑑識係の協力で白バイやパトカーの試乗、「指紋採取」の体験もしました。また別の日には、模型を使って正しい歯磨きの仕方勉強しましたよ！子ども三味線の子供達は「帯のまちながし」にも参加するなど、活動の幅を広げています。

連載:知ってもっと好きになる私たちのまち坂井木部

歴史といえはやはり「武将」や「お城」というと盛り上がるものです。今回は坂井木部にもあったといわれる武将の城や館について紹介したいと思います。

六郎城（木部東）

木部東の27字六呂代は、六郎城があった跡だといわれている。城主は吉野朝廷の忠臣、畑六郎左衛門時能（ときたか）という武将で、耕地整理の際にその城の堀跡が確認されたという事である。

時能は大聖寺の福田村の出身で新田義貞に従って力戦し、加賀、越前を攻略しました。義貞の戦死後、三国湊城を守り新田（脇屋）義介に従い、時能は三百騎をひきいて、金津・長崎・河合・河口などの地で戦い、十二の城を落とし敵の首八百を斬り足羽城を攻めたと伝えられている。木部東の六郎城は三国湊城の出城であったと考えられる。

木部新保館（木部新保）

第72字館屋敷には朝倉高景の第五子向駿河守久景の館であるといわれている。

鳥羽氏館（木部新保）

第73字岡田屋敷には朝倉家の家臣鳥羽右馬助景春、荻原八郎左衛門の館であるといわれている。

清永屋敷（清永）

大字清永地籍の第十字館は朝倉家臣伊勢帯刀が居住した屋敷である。この場所には当時神明宮があったといわれている。この神明神社は明治32年ごろまではこの場所に鎮座していたがその後、現在の白山神社境内に遷座した。



木部新保72字館屋敷



木部新保73字岡田屋敷

お知らせ

第17回坂井市花壇コンクール受賞

今年も木部地区の花いっぱい活動にご協力ありがとうございました。木部地区は応募頂いた花壇全部が受賞しました。おめでとうございます。来年はもっとたくさんのお応募をお待ちしています。

努力賞



木部新保区青空会

入賞



清永あおぞらクラブ



蛸大空会



島区

優良賞



坂井木部地区
まちづくり協議会かんきょう美化部会

まちづくり協議会スタッフ募集!!

これからのまちづくり協議会は地域の課題解決に重点を置き活動していきます。木部地区がより住みよい地区になるよう一緒に活動しませんか。「この活動なら…」と思われるものだけでもいいです。いつでもご連絡お待ちしております。

☎0776-72-0007

木部のまちづくりに
あなたのアイデアと熱意を
お貸しください!

坂井木部地区のようす

令和4年10月1日現在
()内は前年比

人口：1,675人 (-32)
男：797人 (-12)
女：878人 (-20)
世帯数：522世帯 (+2)
小学生数：90人 (-4)

発行

2022.11.25

坂井木部地区まちづくり協議会 広報委員会
〒919-0532 福井県坂井市坂井町高柳117-9
坂井木部コミュニティセンター内
TEL 0776-72-0007 FAX 0776-72-3009
email : skibe-p@mx3.fctv.ne.jp
HP : https://kibemaru.jimdofree.com/

編集後記

まち協広報委員会では、年2回『みのりの郷』を発行しています。広報の役割は、区民の皆さんに地域の情報やまちづくり協議会の活動などを知っていただき、興味をもって一緒に参加・活動していただくことと考えています。

まち協の活動を通して、人と人とのつながりを広げ、活力ある坂井木部をみんなで作っていきましょう。みなさんと一緒に活動できることを楽しみにしています。